

はじめに（ごあいさつ）

近年、わが国では少子高齢化と人口減少が一層進展し、地域農業や地域社会・経済の弱体化が危惧されています。JA新潟みらいにおいても、平成19年の合併以来、正組合員数は減少し続ける中、高齢化も進行し、正組合員に関しては60歳代以上が占める割合は8割に迫る勢いです。

また、これまで主に信用・共済事業の利益や事業管理費の削減により事業利益を確保してきましたが、信用・共済事業の将来収益の縮小予測に伴う経営収支の悪化が強く懸念される中で、持続可能な経営基盤の確立が喫緊の課題となっています。

第38回JA新潟県大会では、このような厳しい現状を「農業・農村の危機」（高齢化や担い手不足、過疎化等）、「組織・事業・経営の危機」（地域社会・経済の疲弊とJA組織基盤の弱体化等）、「協同組合の危機」（組合員とJAとの関係性の脆弱化等）の3つの危機に直面しているとし、これらを突破するためには、より一層の自己改革を進め、持続可能な農業・JA経営の確立の必要性が再確認されました。

こうした中で、「第5次中期3ヵ年経営計画（令和2年度～令和4年度）」の策定にあたっては、これまでの自己改革や現行中期計画の取り組み実績、昨年実施した組合員調査での評価等を踏まえ、これからのJA新潟みらいの目指す姿として「農業」「地域」「経営」の3つの分野において長期ビジョンを設定しました。今後、地域農業・JAを取り巻く環境は、一層厳しさを増すことが予想されますが、経営理念である「組合員と役職員の協同活動によって、組合員・地域と共に、繁栄すること」を目指すため、役職員一丸となって計画達成に向けて取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和2年3月
新潟みらい農業協同組合